



□ 脇田町の歩道橋

東口の再開発事業の関連整備として平成2年に完成したJR川越線、東武東上線の跨線橋。アーチ型のニールセンローゼという形式で、構造的な美観と安心感をあわせ持った橋である。川越駅周辺のシンボリック的存在になっており、橋詰に置かれたガス灯がアクセントとなっている。